

S/F REAL4

Q&A

【キープラン】

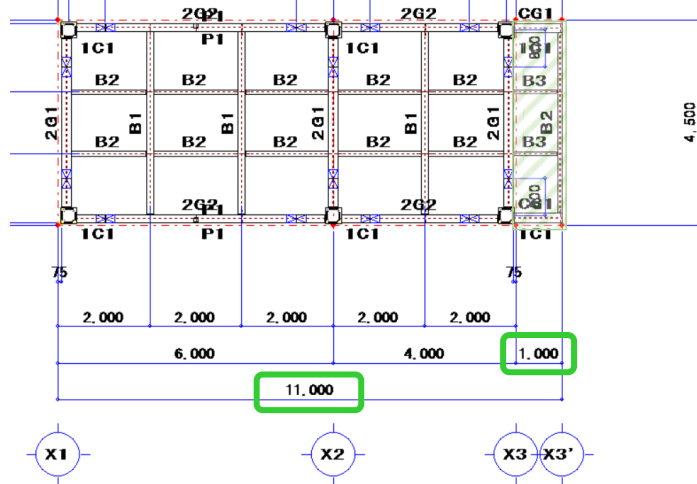
 あいホールディングスグループ 

株式会社 **ドットウェル** ビー・エム・エス

DATA LOGIC

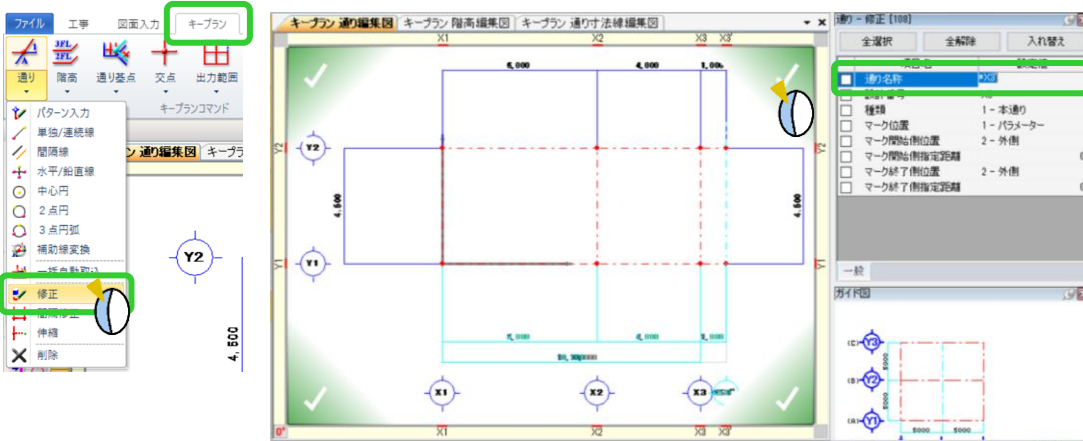
片持ち梁用の通りの寸法を全体寸法に含めたくない！ 通りの名称に「*」を付けることで出来ます。

例) 庇の片持ち梁先端の通り (X3') の寸法 (1,000) を建物全体の寸法に含めずに作図したい場合

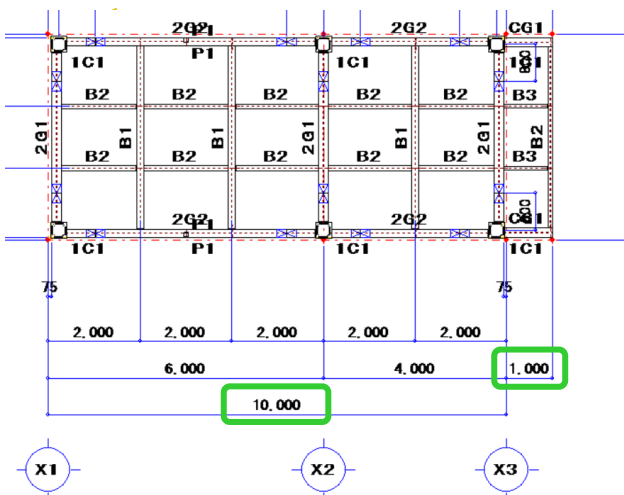


【キープラン】 - 【通り】 - 【修正】 をクリックし、X3'通りを選択します。

『通り名称』が *X3' になるよう、X3'の先頭に「*」を入力し、四隅の☑をクリックします。



全体の寸法 (10,000) と片持ち梁先端の通りまでの寸法 (1,000) を分けて作図します。



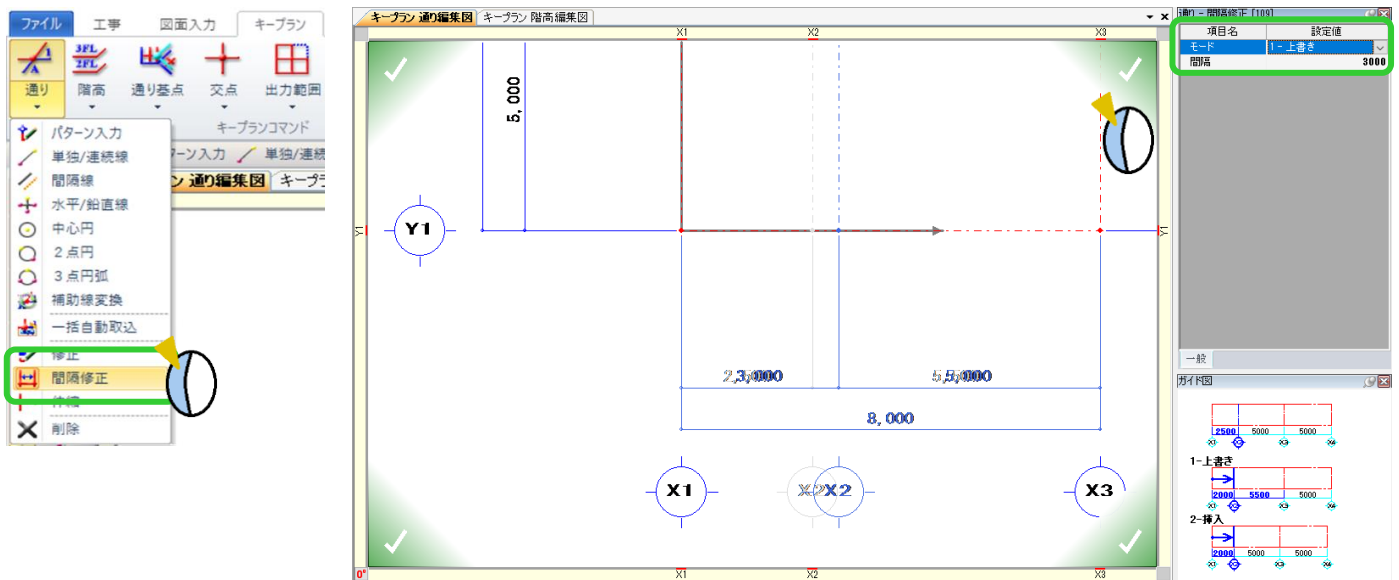
本通りの名称の頭に「*」を付けた場合、
平面図作図時、本通り同様に通り軸は作図しますが、通り名称は作図しません。
通り種類が仮通りの場合、
平面図作図時には作図しません。
仮通りの軸組図を作図することは可能です。

🔑? パターン入力した通りの間隔を変更したい！ 通りの間隔修正で変更できます。

例) 総スパンを変えずに X1~X2 通り間の間隔 2500 を 3000 に変更する場合

【キープラン】 - 【通り】 - 【間隔修正】 をクリックします。

間隔を変更したい X2 通りをクリックし、モードは上書き・間隔を 3000 に変更して四隅の☑をクリックします。



<モードについて>

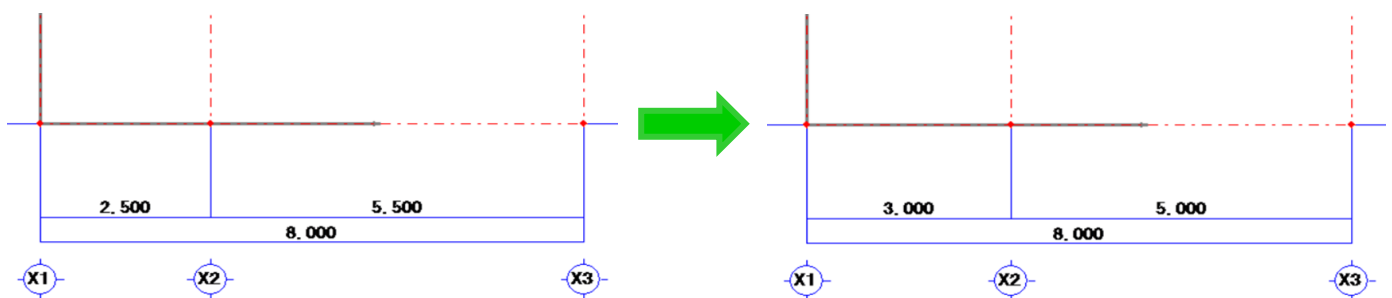
1-上書き…総スパンを変えずに間隔を変更します。

2-挿入 …各通り間は変わりませんが、変更した間隔分、総スパンが変わってきます。

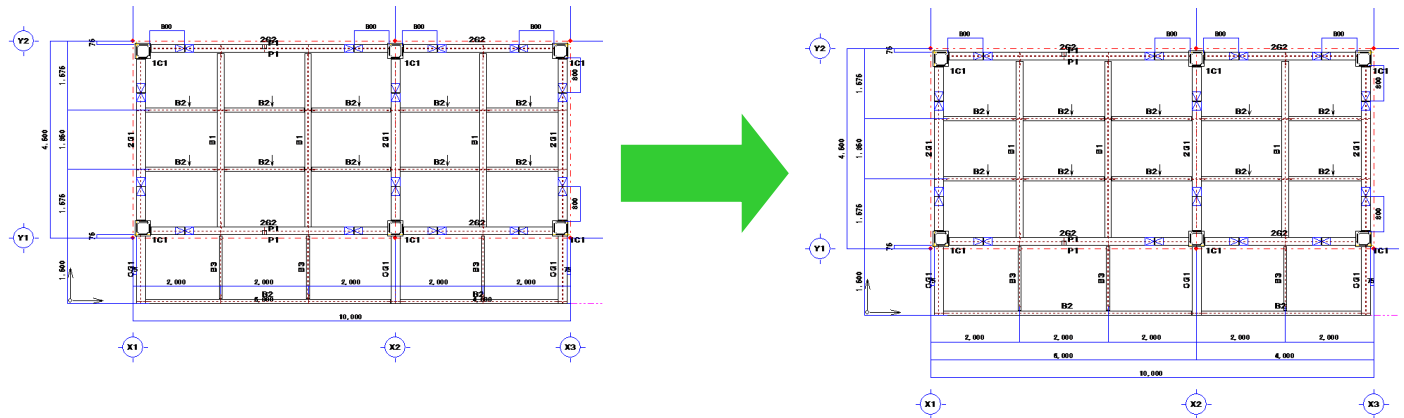


<変更前> X1~X2 の間隔 2500

<変更後> X1~X2 の間隔 3000 (総スパン変更なし)



❓ 庇と寸法線がかぶって見えにくい！
寸法間隔の修正ができます



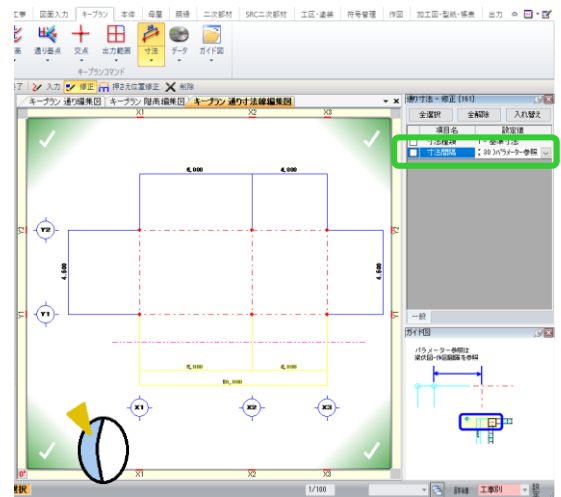
【キープラン】 - 【寸法】 - 【修正】 をクリックします。

修正したい寸法線をクリックすると現在の寸法間隔が表示されます。

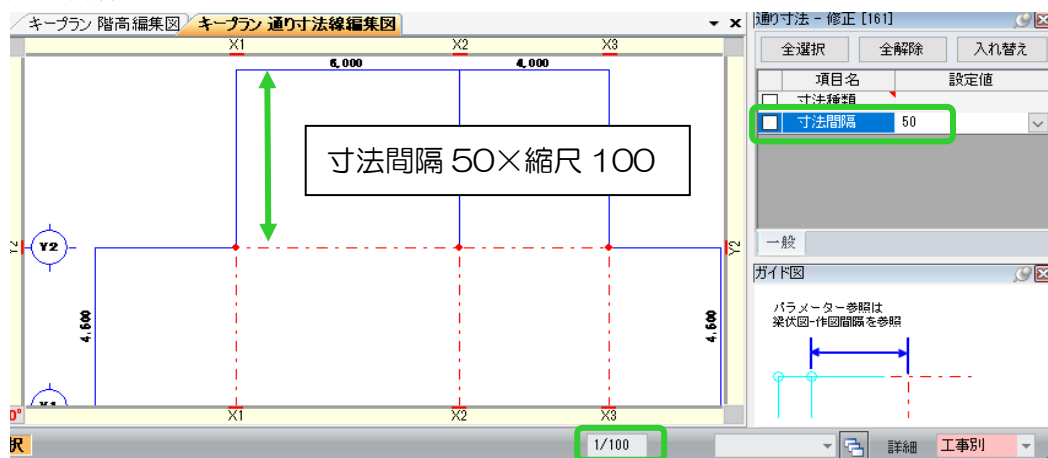
※初期設定は（30）パラメーター参照

（パラメーター - 図面作成 - 5.梁伏図 - 6.作図間隔）

寸法間隔に変更したい数値を入力して、四隅の✓をクリックします。



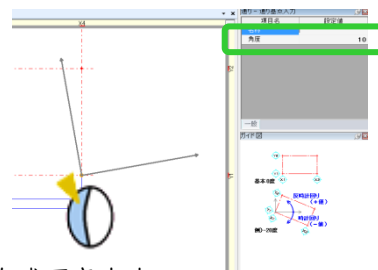
- ◆ 庇の通りを作成すると、庇の通りからの寸法間隔になります。
- ◆ キープランから寸法修正をすると、アンカープラン図以外のすべての階の寸法線が修正されます。
- ◆ 図面編集からも寸法移動で修正できますが、その場合各階での修正が必要となります。
- ◆ 寸法間隔の数値は、数値×縮尺になります



?? 斜めの通りを作成したい！

① 通りの基点を作成することでパターン入力が可能です

【キープラン】 - 【通り基点】 - 【入力】 をクリック



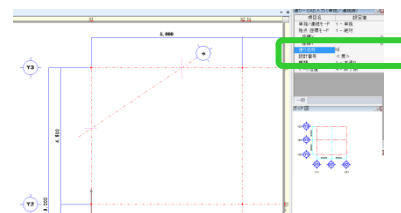
斜め通りの角度を入力し、基点となるポイントをクリック

【通り】 - 【パターン入力】 より斜め基点を基準とした通りを作成できます

② 補助線を作図する感覚で作成できます

【キープラン】 - 【通り】 - 【単独/連続線】 をクリック

「通り名称」や「マーク位置」など必要な項目を設定し、補助線を作図する様に、通りを作成できます。

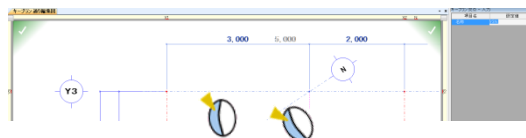


パターン入力 / 単独/連続線 / 間隔線 / 水平/鉛直線 / 中心円 / 2点円 / 3点円弧



パターン入力以外の方法で通りを作図した場合、通りの交点(キープラン交点)は自動では作成されません。

【キープラン】 - 【交点】 - 【入力】 より交差する2本の通りをクリックし、キープラン交点を作成することで柱の配置が可能となります。

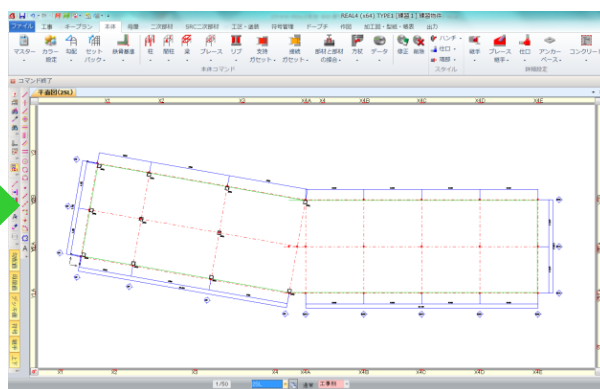
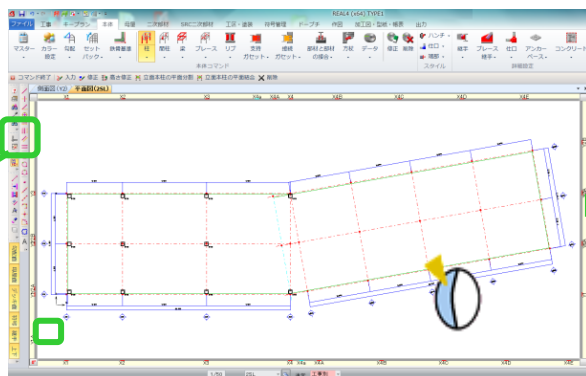


?? 斜めの通りの建物をまっすぐにしたい！

指定した通りや補助線を基準に、図面を回転できます。

画面左側のツールバーより【表示回転】をクリックし、0度にした通りや補助線をクリック

図面を回転させることにより、柱の角度を常に0°として入力でき、範囲選択も簡単にできます。



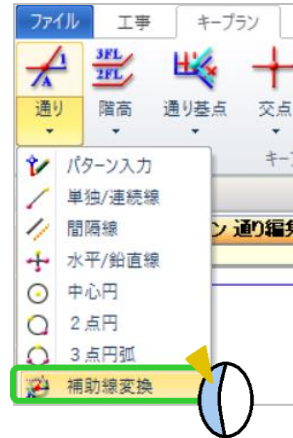
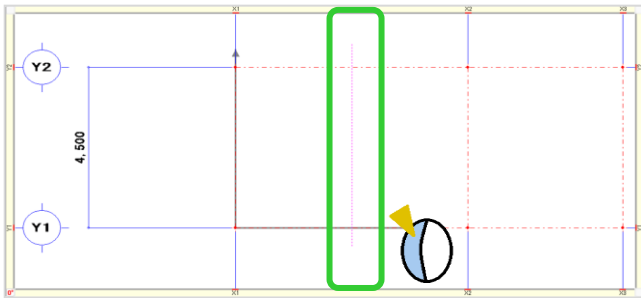
元の角度に戻す場合は、画面左下の 0° をクリックして戻すことが可能です

補助線の位置に配置した梁を軸組図で見たい! ①

補助線変換で補助線を通りに変換できます

【キープラン】 - 【通り】 - 【補助線変換】 をクリックします。

通りに変換したい補助線をクリックします。



【通り名称】 や【種類】 を入力シートで設定します。

また、補助線変換時の通りの視野は補助線を引いた際のクリックの順番で変わります。

【始終点関係】 では補助線変換時の通りの視野を変更できます。

通りのマーク位置で視野方向を確認し、通りを逆視野にしたい場合は

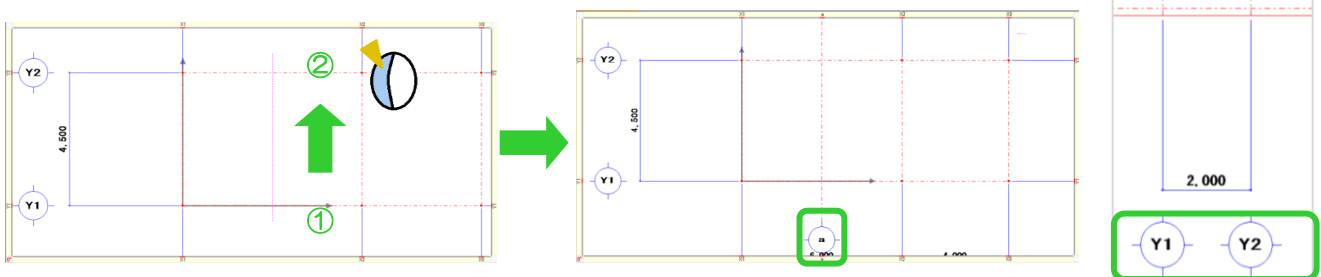
【始終点関係】 を【2 - 反転】 にします。

項目名	設定値
通り名称	a
設計番号	<無>
種類	1 - 本通り
マーク位置	1 - パラメーター
始終点関係	1 - そのまま



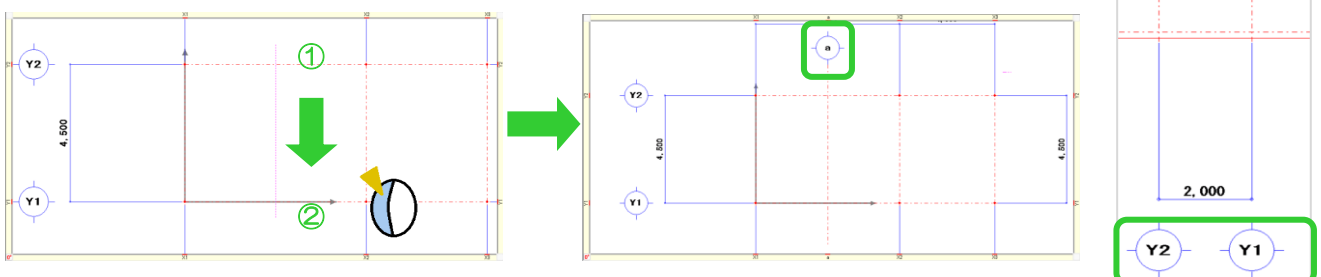
〈下から上／左から右に向かって引いた補助線を通りに変換した場合〉

- 通りのマーク：開始側に表示
- 通りの視野：通常視野



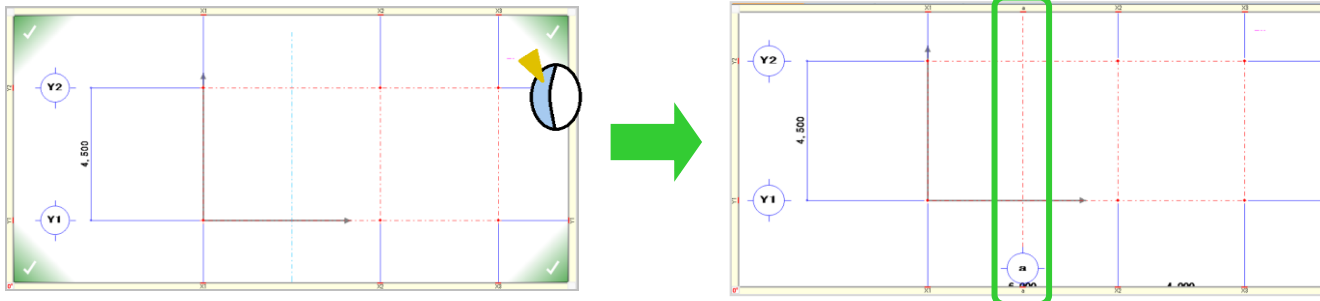
〈上から下／右から左に向かって引いた補助線を通りに変換した場合〉

- 通りのマーク：終了側に表示
- 通りの視野：逆視野



補助線の位置に配置した梁を軸組図で見たい！② 補助線変換で補助線を通りに変換できます

四隅の をクリックして確定すると、補助線が通りに変換できます。



補助線を通りに変換した後に通り間のピッチを変更する場合は【通り】 - 【伸縮】 - 【自由端点】で通りを移動することができます。

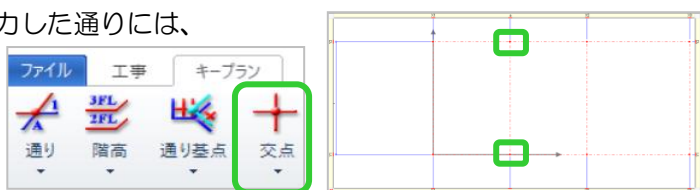
補助線変換前に補助線基準で配置した梁は、変換した通りを伸縮で移動しても付いてきません。

【梁】 - 【基準修正】で通り基準に変更してください。

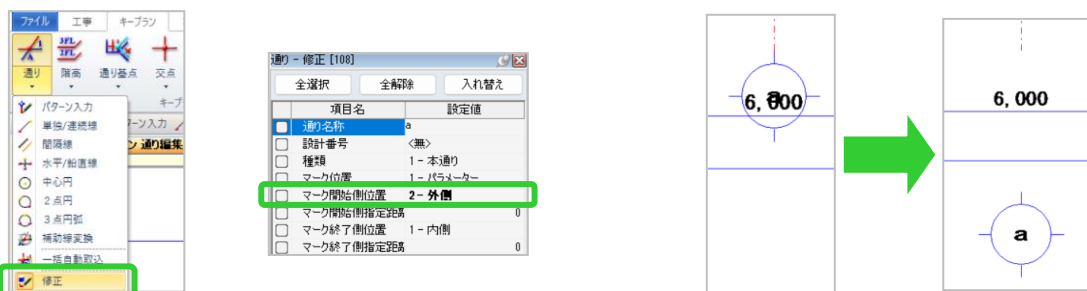


【通り】 - 【パターン入力】以外の方法で入力した通りには、キープラン交点は設定されません。

【交点】 - 【入力】で交点を作成することで柱の配置が可能になります。



補助線変換した通りのマークと寸法線が重なる場合、【通り】 - 【修正】で【マーク開始側位置】を【2-外側】に設定することで通りのマークを寸法より外側に表示でき、寸法と重ならなくなります。



【通り】 - 【補助線変換】で基準にした補助線は削除できません。

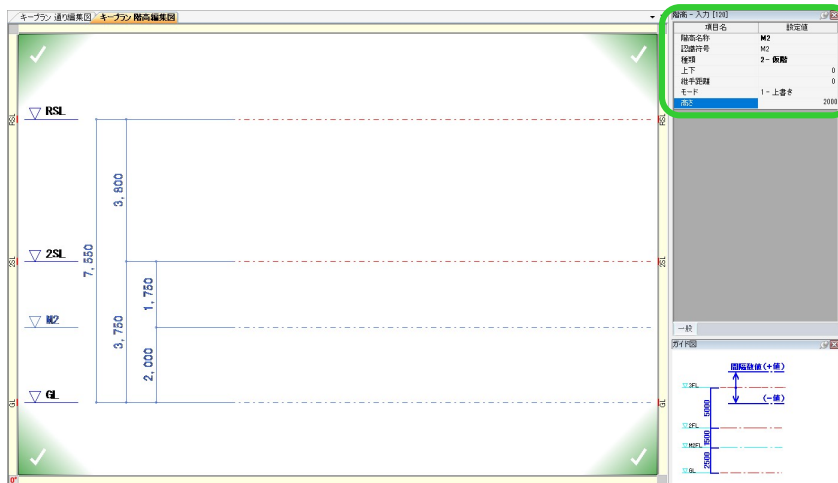
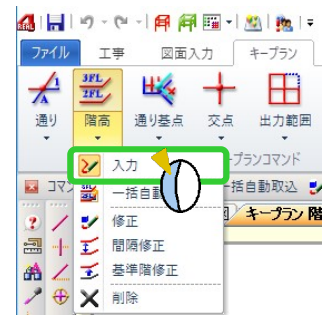
階高を追加したい！

キープランの階高で追加できます。

<GL 階～2SL 階間、GL+2000 の位置に仮階 M2 を追加する場合>

【キープラン】 - 【階高】 - 【入力】 をクリックします。

今回は GL 階を基準にして追加するため、基準階高指定で GL 階をクリックし、画面右側 入力シートに必要な情報を入力します。



項目名	設定値
階高名称	M2
認識符号	M2
種類	2-仮階
上下	0
継手距離	0
モード	1-上書き
高さ	2000

入力シートは下記内容で設定します

- ・階高名称：M2
- ・種類：2-仮階
- ・モード：上書き
- ・高さ：2000



上階（今回の場合は2SL 階）を基準階高にして入力する場合は、高さをマイナス値で入力します。

<M2 階 追加前>



<M2 階 追加後>



<モードについて>

- 1-上書き…階間に追加した場合、総スパンは変わりません。
- 2-挿入 …階間に追加した場合、各階高間は変わりません。



ベースの高さを一括で設定したい！

キープランの階高の上下で設定ができます。

例) ベースの高さが GL-150 の場合

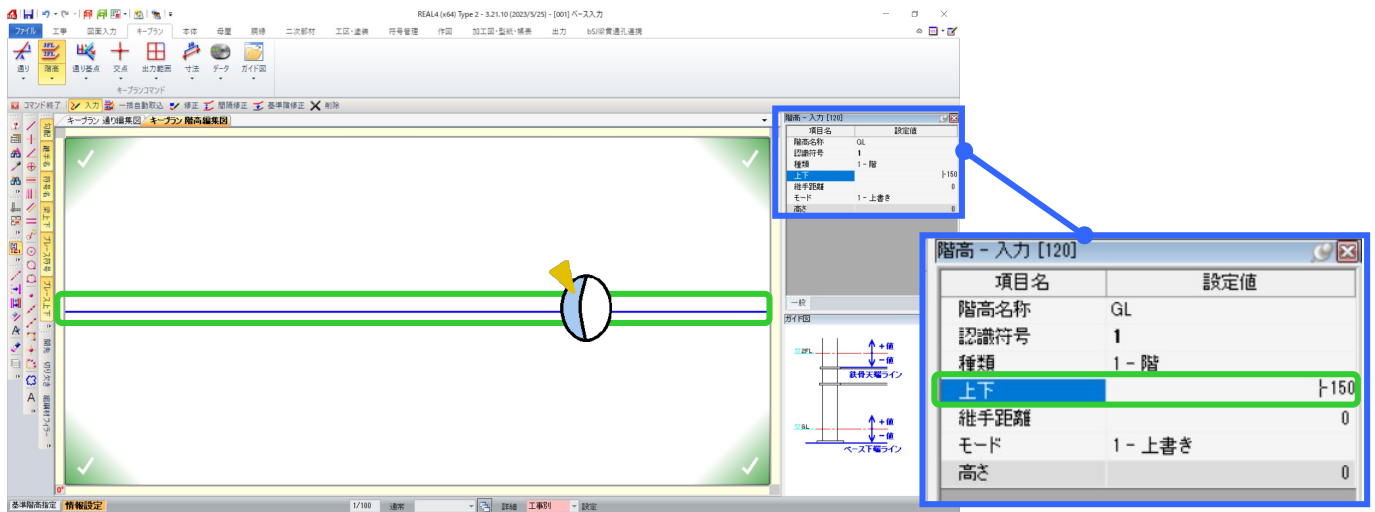
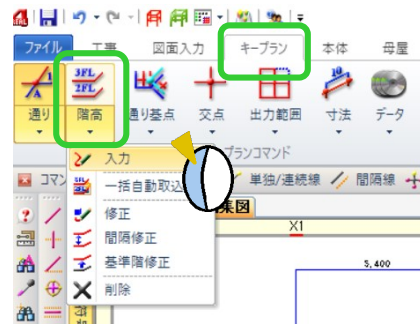
【キープラン】 - 【階高】 - 【入力】 をクリックします。

画面にある横線（基準階のライン）をクリックします。

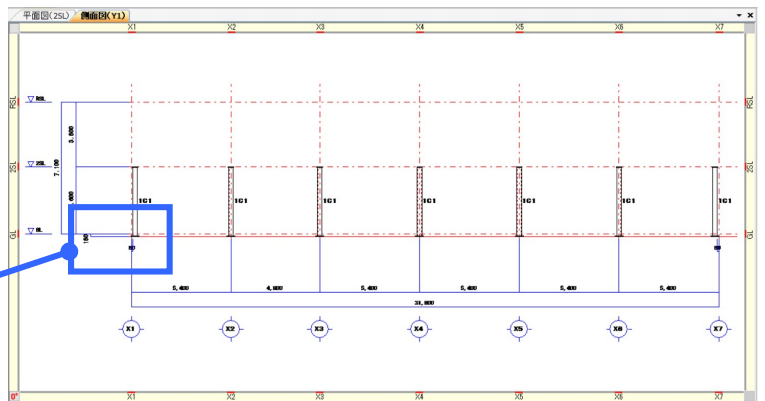
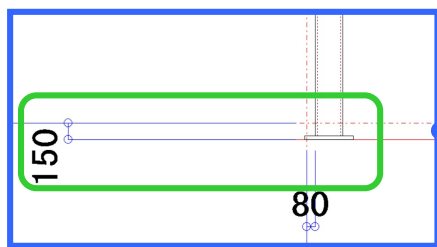
右側の入力シートで階高名称などを入力。

【上下】 に GL からベース下端までの数値を入力します。

今回は GL-150 なので、-150 と入力してください。



階高を入力後、本体で本柱・間柱を配置すると、キープランの階高の上下で設定をした位置にベースの下端を揃えることができます。



<階高を入力済みの場合>

【キープラン】 - 【階高】 - 【修正】 で GL の階高ラインを選択、【上下】 に数値を入力してください。

階高を修正すると、配置済みの部材も階高で設定した数値を反映します。

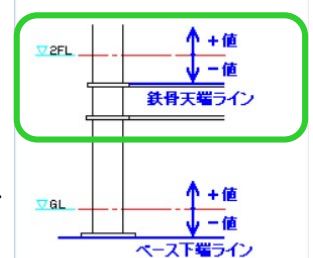


<上下について>

GL 階(基準階)以外の上下数値では階高から鉄骨天端までの数値を入力します。

2FL より鉄骨天端が 150 下がりの場合、2FL の階高を入力する際、

【上下】 に-150 と入力してください。



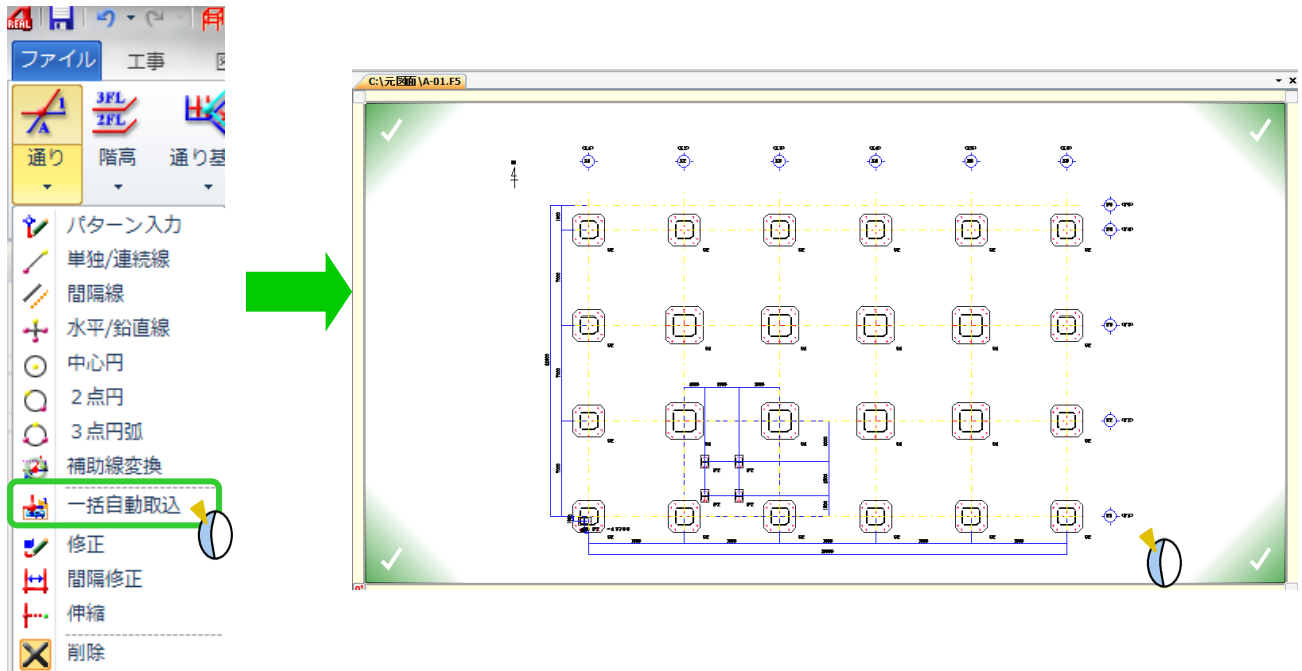


図面から通り軸や階高を取り込みたい！

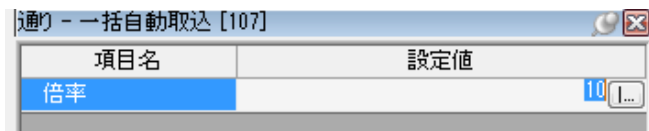
一括自動取り込みから可能です。

【通り】 - 【自動一括取り込み】をクリックします。

取り込みたい元図面を選択し、通り軸となる線をクリックして選択し、OK を押すと取り込みがされます。



取り込みの際、倍率を設定することもできます。



軸組図も同様に【階高】 - 【自動一括取り込み】で元の図面から取り込みができます。

軸組図等1つのファイルに複数の図面が入っている場合、不要な線も選択されてしまいますので、取り込みたい階高ラインを選択後、不要な線はクリックまたは右ドラックで選択解除してください。

